

2022年12月9日

株式会社ACSL

ACSL、小型空撮ドローン SOTEN（蒼天）において 1月より機体と操作機器間を閉域網で接続可能に

- SOTEN（蒼天）において、2023年1月中旬より、機体と操作機器間を閉域網で接続可能に
- 機体と操作機器間の通信傍受や乗っ取りなどのセキュリティリスクに対して、閉域網で接続することで、より安全・安心に活用いただける

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：鷲谷聡之、以下、ACSL）が提供する国産の小型空撮ドローン SOTEN（蒼天）において、2023年1月中旬より、機体と操作機器間を閉域網で接続する対応を開始いたします。これにより、SOTEN（蒼天）のLTE対応モデルをご購入のお客様は、機体と操作機器間の通信傍受や乗っ取りなどのセキュリティリスクに対して閉域網で接続することで、より安全・安心に活用いただくことが可能となります。

閉域網での接続については、本日、NTT コミュニケーションズ株式会社(以下、NTT Com)が発表した「閉域網プラン※」にお申し込みいただくことで、利用可能となります。

■国産ドローン SOTEN（蒼天）について

ACSLのSOTEN（蒼天）は、高いセキュリティを実現したドローンへの需要が高まる中で開発した、セキュアな小型空撮ドローンです。データの漏洩や抜き取りの防止、機体の乗っ取りへの耐性を実現し、通信・撮影データは暗号化しているため、セキュリティ面でドローンの活用を不安に思われるお客様に安心してご利用いただけます。



国産の小型空撮ドローン SOTEN（蒼天）

■申し込みについて

12月9日より申し込みを開始いたしますので、ACSLの販売代理店にお問い合わせください。販売代理店は製品サイトの「購入の流れ」ページよりご覧ください。

なお、SOTEN（蒼天）をご購入いただく際には、通常モデルかLTE対応モデルかを選択いただけるようになっており、LTE対応モデルをご購入いただいたお客様が「閉域網プラン」にお申し込みいただくことが可能です。

<https://product.acsl.co.jp/flow/>

※閉域網プラン

NTT Com が提供する、フライト計画の作成や機体に関する情報管理などドローン運用に役立つ機能を提供するクラウドサービス「セキュアフライトマネジメントクラウド」(以下、本サービス)のオプションプランの 1 つとして提供されるものであり、本サービスとセットで提供される SOTEN (蒼天)と操作機器間を閉域網で通信することができます。閉域網で通信することにより、オープンなインターネットとは異なり特定の利用者のみアクセスが可能となるため、セキュリティリスクを最小限に抑え、安全なフライトが可能となります。

関連リンク：<https://www.ntt.com/business/services/sfm-cloud.html>

【株式会社 A C S L について】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社 A C S L 担当：廣嶋（ひろしま）

Tel: 03-6661-3870 Email: sales@acsl.co.jp

以 上